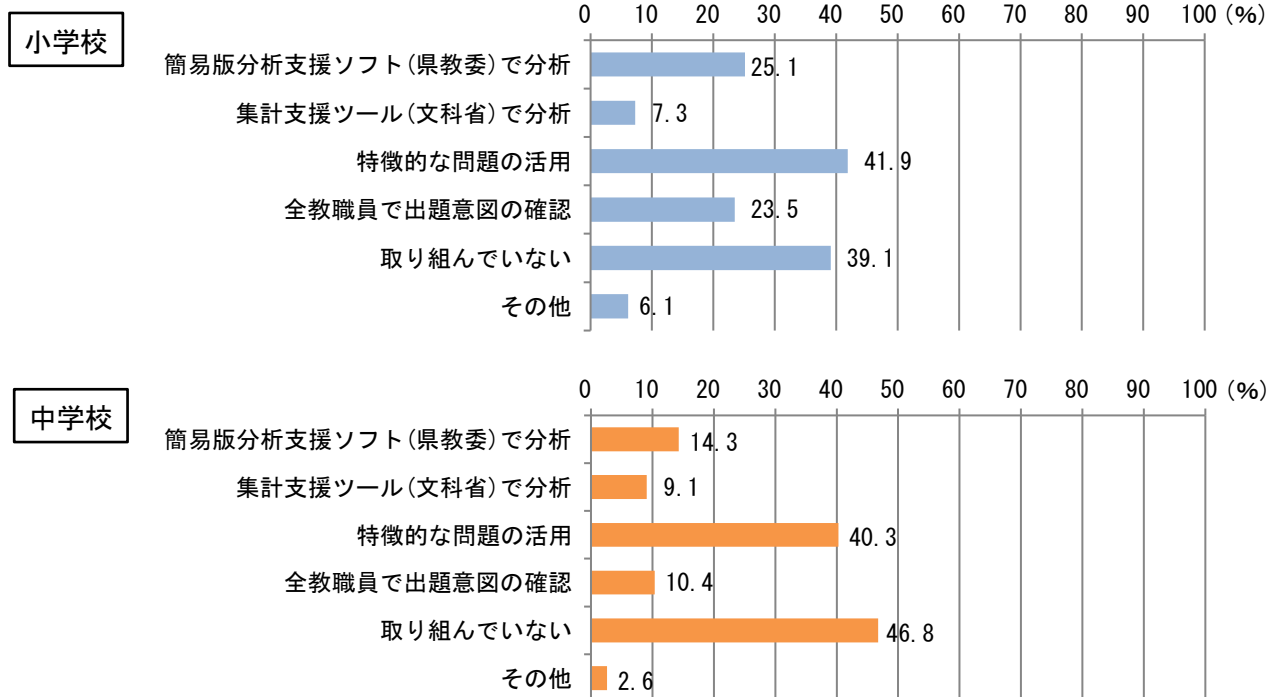


令和4年度 授業改善モニターアンケートの結果

令和4年12月実施

今回のアンケートでは、全国学力・学習状況調査の活用状況、及び富山県教育委員会から配布、配信している冊子やソフト、問題集、広報紙等の活用状況やホームページの利用状況について尋ねました。

1 「令和4年度 全国学力・学習状況調査」の結果公表前の自校の取組（複数回答あり）



【簡易版分析支援ソフト（県教委作成）の活用例】

- ・簡易版分析支援ソフトで本校の課題を明らかにし、夏季休業中に、2学期に向けて指導法等についての研修を行い、重点的に取り組む単元を決めて指導計画を立てた。

【「令和4年度特徴的な問題」の活用例】

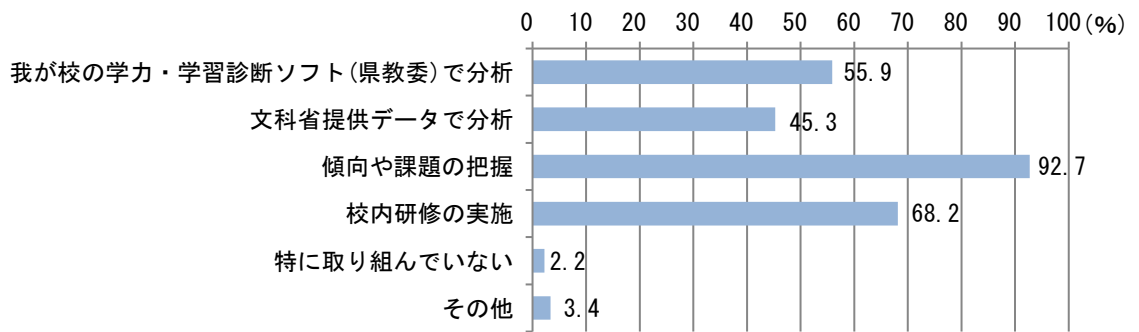
- ・夏季休業中の全体研修会で取り扱った。各教員が事前に取り組み、学年部会ごとに現在担当している学年の指導にどのように取り入れていくか検討する時間を設けた。
- ・出題の趣旨や指導のポイントについて明示してあったので、それを基に、何を意識して授業を改善すればよいか考えるための研修を行った。
- ・自校の分析結果から課題とみられる問題と一致する問題を取り上げ、指導のポイントや指導上の留意点を参考にして対応策を考えるようにした。

【その他の取組例】

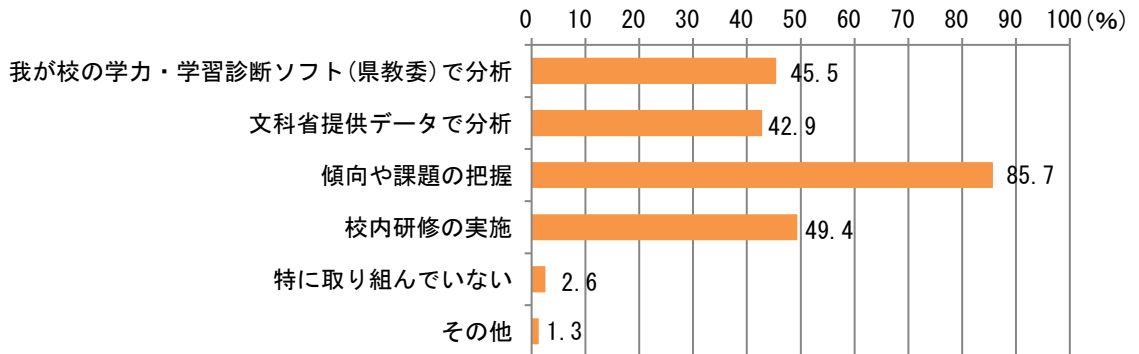
- ・全職員で調査問題に取り組んだ。自校採点を行い、採点基準の共通理解を図ったり、児童のつまづきを分析したりし、授業改善等について話し合った。
- ・全教職員で採点し、解答傾向の把握、普段の学習における改善点等について複数回の研修を行った。
- ・6学年担任だけでなく、他学年の担任にも問題を回覧し、解いてみるように呼びかけた。
- ・解説等の配られた資料を基にしながら、出題の意図や学習指導要領の項目等を整理してまとめて校内提案資料を作成する際に活用した。

2 「令和4年度 全国学力・学習状況調査」の結果公表後の自校の取組（複数回答あり）

小学校



中学校



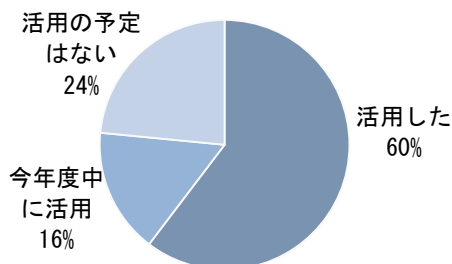
【その他の取組例】

- ・学力向上推進チームの「アラカルト研修」を利用して、2学期からどのように授業改善を行っていけばよいか研修を行った。
- ・自校の結果を踏まえて、学習参観後に第6学年保護者に向けて説明会を行った。
- ・小中連携で、小学校の分析結果と中学校の分析結果を持ち寄って両校の児童生徒の傾向や課題を共通理解した。

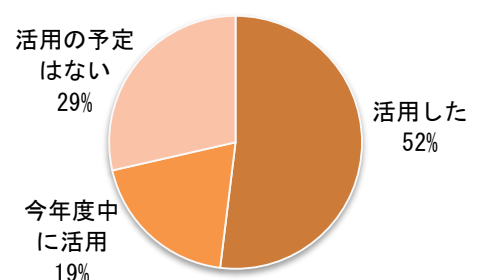
3 「令和4年度 我が校の学力・学習診断ソフト」の活用状況

(1) 【教科に関する結果（正答率・誤答率・無解答率）】について

小学校



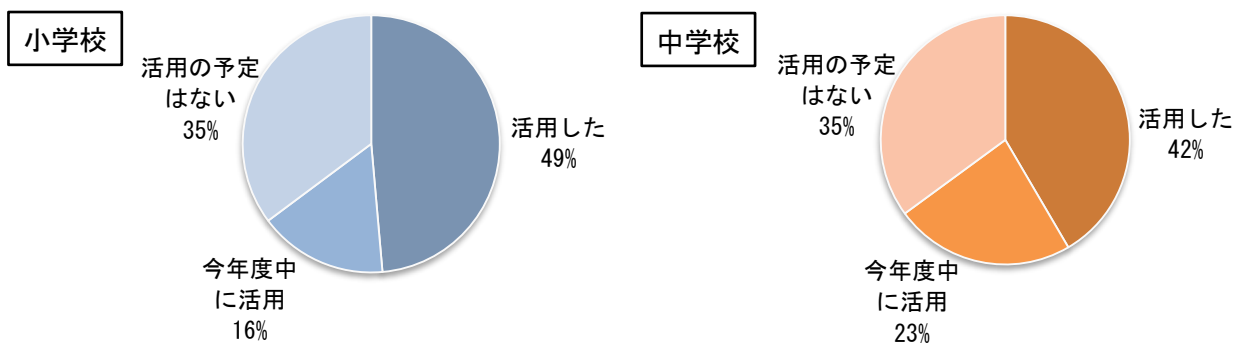
中学校



【活用例】

- ・正答率が高い問題については、これまでの取組の成果として、児童にどのような力が付いているかを確認した。全国や県と比較して、正答率が低い問題や誤答の多い問題については、自校の課題を分析するなど、低学年からそれぞれの学年で確実に身に付けさせたい学習内容や力について共通理解を図った。
- ・自校の児童の傾向や課題を把握し、授業改善に役立てた。また、学校だよりによりまとめ、保護者に配布した。

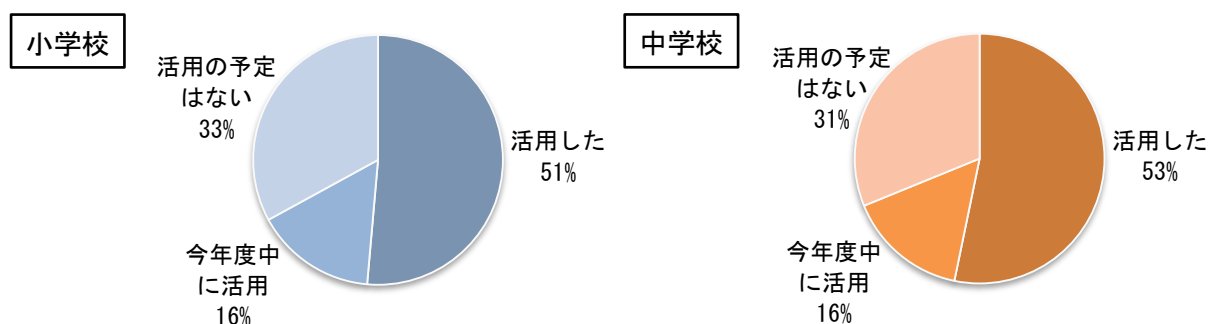
(2) 【教科に関する結果（解答類型）】について



【活用例】

- ・ 誤答を分析し、授業中の発問や教材等の工夫について研修した。
- ・ 誤答の多い問題については、解答類型を分析し、どのような理由による誤答であるのかを考えるとともに、説明し合う活動を各教科の単元の学習に取り入れている。
- ・ 正答率が低い問題や県平均との差が大きい問題について、解答類型等を示しながら、児童の課題と対策について分析し、全教員で共通理解を図った。

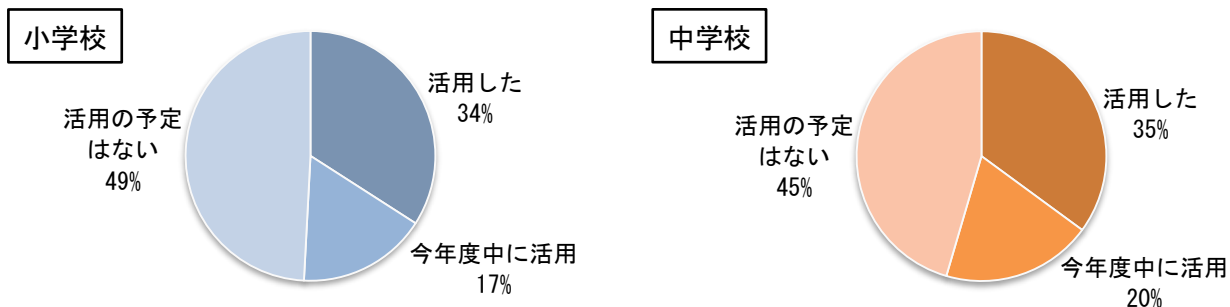
(3) 【児童生徒質問紙分析支援ソフト】について



【活用例】

- ・ 生活習慣や学習習慣、学習に対する意識等の実態を把握し、本校の長所、短所を知り、改善策を考えていく手がかりとした。
- ・ 肯定的な回答の割合が低かった質問について、どのような対策が有効であるかを研修会で協議し、具体的な方策を立てて実践した。
- ・ 家庭学習やアクションプランに関わる項目を取り上げて生徒の状況を把握し、2学期以降の手立てについて協議した。
- ・ Q-Uと関連付けて、質問紙の回答と個が抱える問題について検討した。我が校の児童のよさと課題について分析し、教員間で共通理解を図った。
- ・ 全国平均値を上回った質問と下回った質問で特に差が大きかった質問に関してピックアップし、教師間で共有するとともに、学校運営協議会の資料とした。
- ・ 家庭での読書時間やゲームの使用時間を含めた基本的な生活習慣等、家庭の協力も必要な項目について取り上げ、保護者説明会で伝えた。

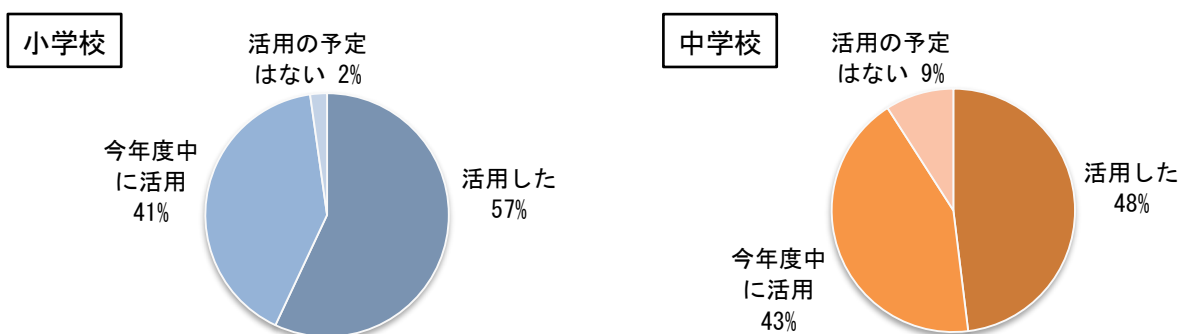
(4) 【平均正答率の全国との差の推移】について



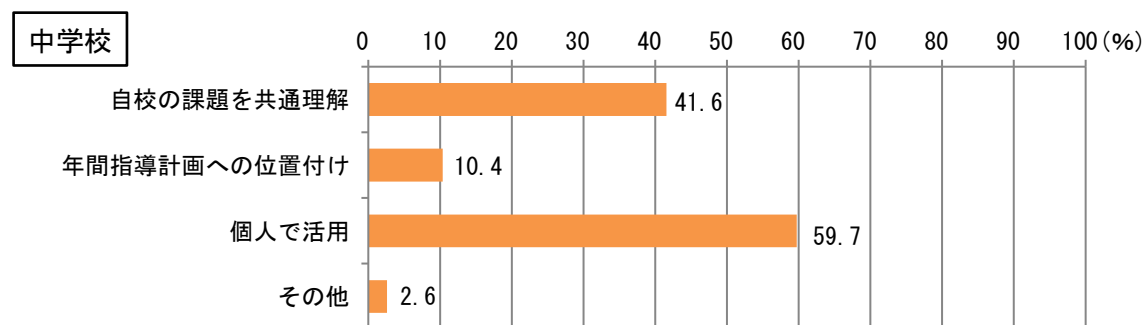
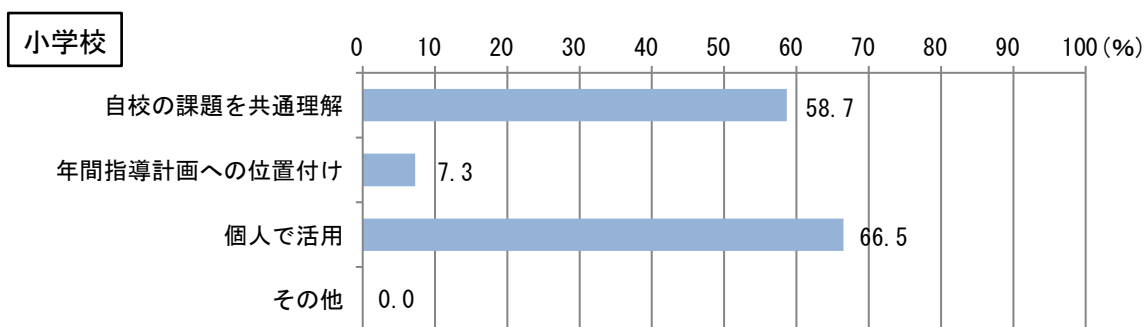
【活用例】

- ・平成31年度から令和4年度までの全国や県との差の推移を確認した。
- ・保護者への説明会において、特徴のある部分について取り上げるとともに、今後の対策や授業で取り組んでいきたいことについて話した。また、6学年担任とも共通理解を図った。

4 「令和4年度 対策のヒント」の活用状況（予定を含む、複数回答あり）

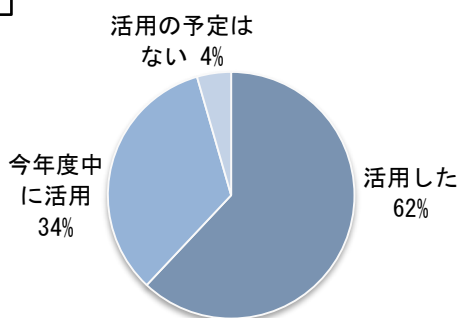


活用方法（予定を含む、複数回答あり）

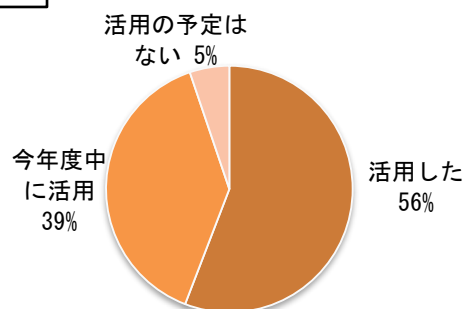


5 「令和4年度 全国学力・学習状況調査報告書」（富山県版）の活用状況

小学校

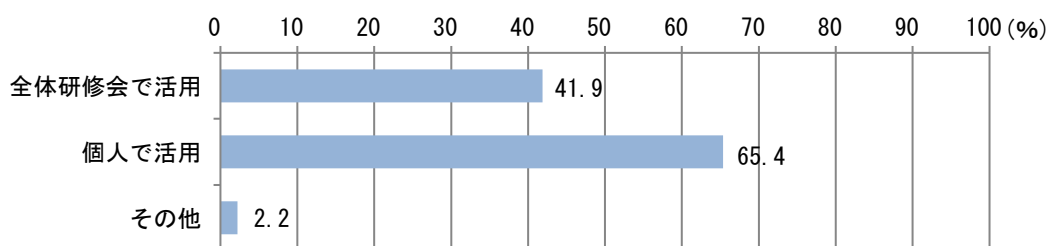


中学校

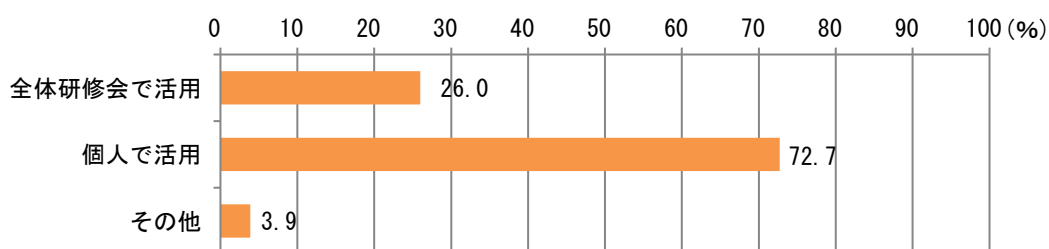


活用方法（予定を含む、複数回答あり）

小学校



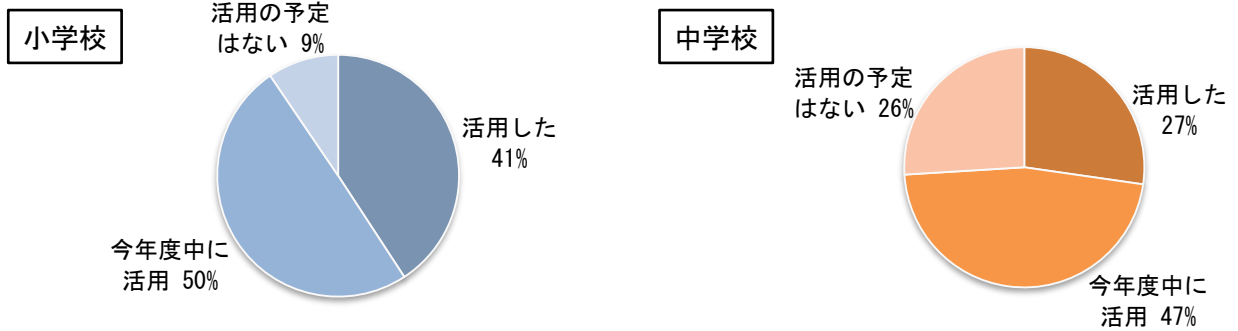
中学校



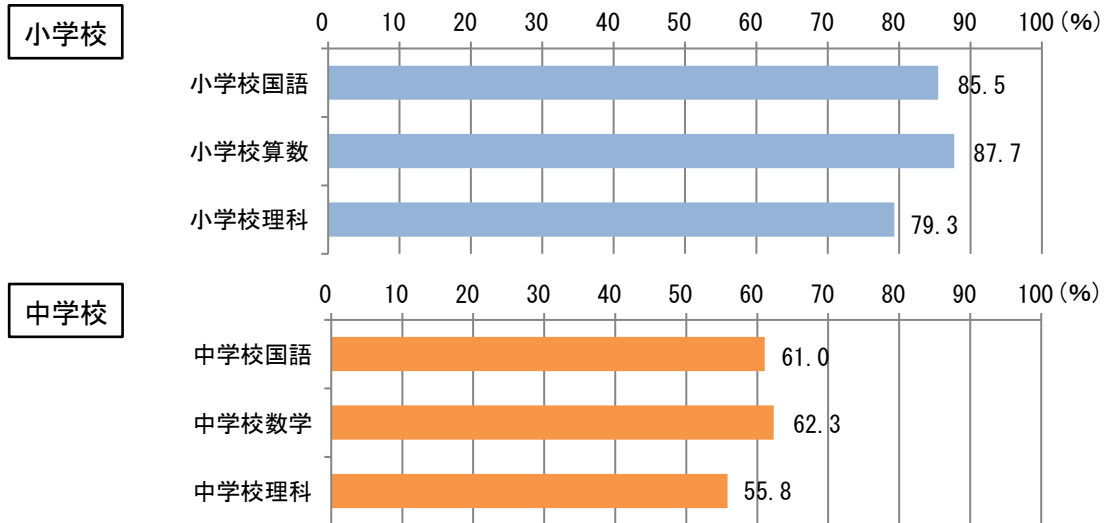
【活用例】

- ・各担任に配布し、学習指導上の留意点や指導のポイントを授業改善に生かすようにした。
- ・P43に掲載されている「我が校の実態に基づく学力向上に向けた取組例」は、とても分かりやすい内容である。学習指導の改善・充実のための参考資料が多くあることを、次年度に向けて再確認するのは効果的である。
- ・文科省のデータ表記と比べて、富山県版のものは見やすいので、回覧したり職員室内に掲示したりした。先生方にも見てもらいやすかった。
- ・課題や対策のページの大切な部分にマーカーを引き、対策のヒントとともに回覧した。
- ・報告書に記載されていた、授業改善に関する内容について若手研修会で取り上げ、各自の授業改善への手立てとした。
- ・本校の傾向から、記述の問題について、解答するときに気を付けるポイントについて共通理解し、普段の授業での振り返りを書かせるときに注意することを共通理解した。
- ・本校の傾向と比較し、実態を考察し、学校運営協議会等での意見や助言を基に、学校運営に活用した。

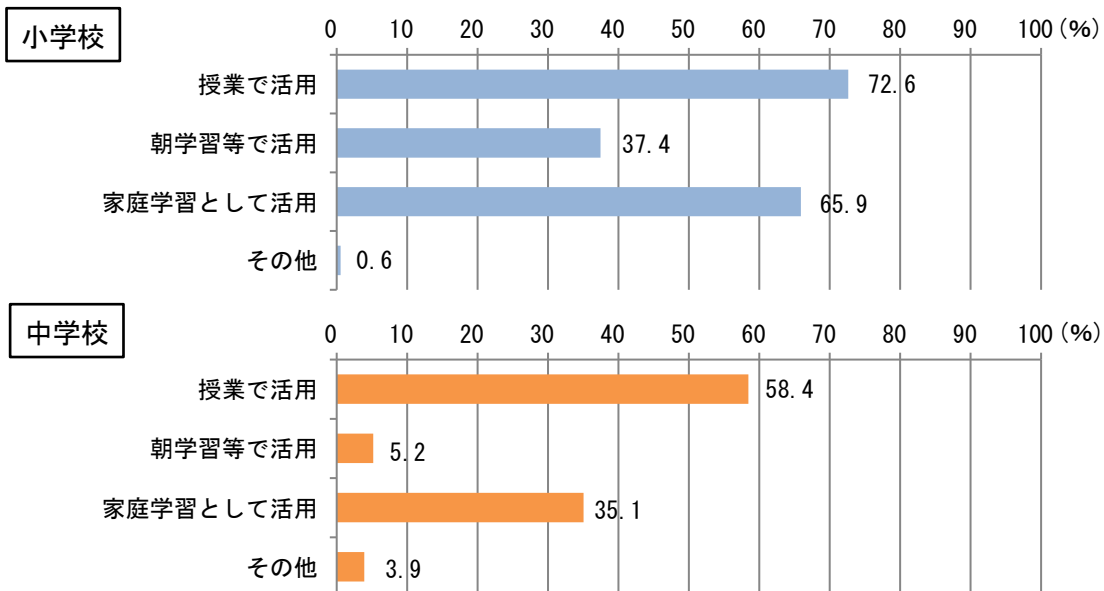
6 「単元確認問題」の活用状況



活用した教科（予定を含む、複数回答あり）



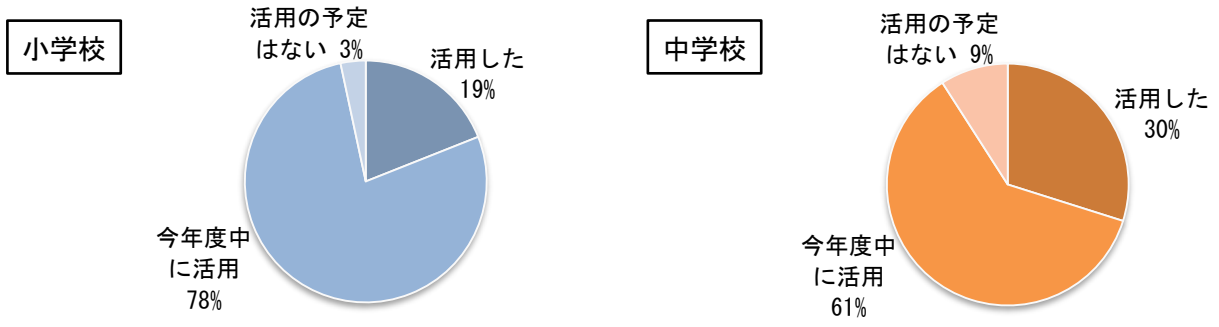
活用方法（予定を含む、複数回答あり）



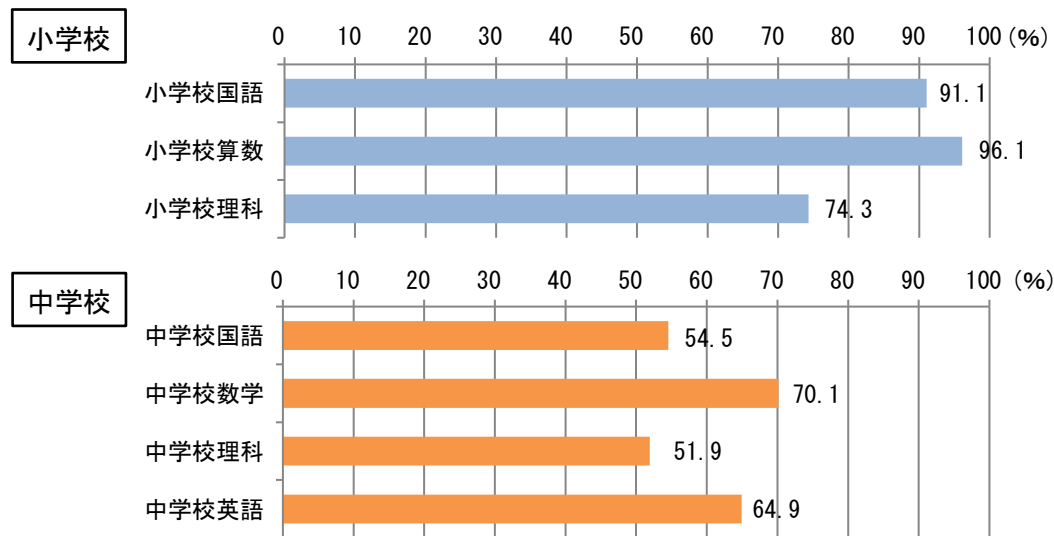
【活用例】

- ・小テストの作成に活用した。
- ・問題を精選して冊子にし、新入生説明会で中学校入学までの課題として配布した。
- ・放課後に実施している補充学習で活用した。
- ・各単元のまとめとして実施した。学習のまとめとして効果的であった。

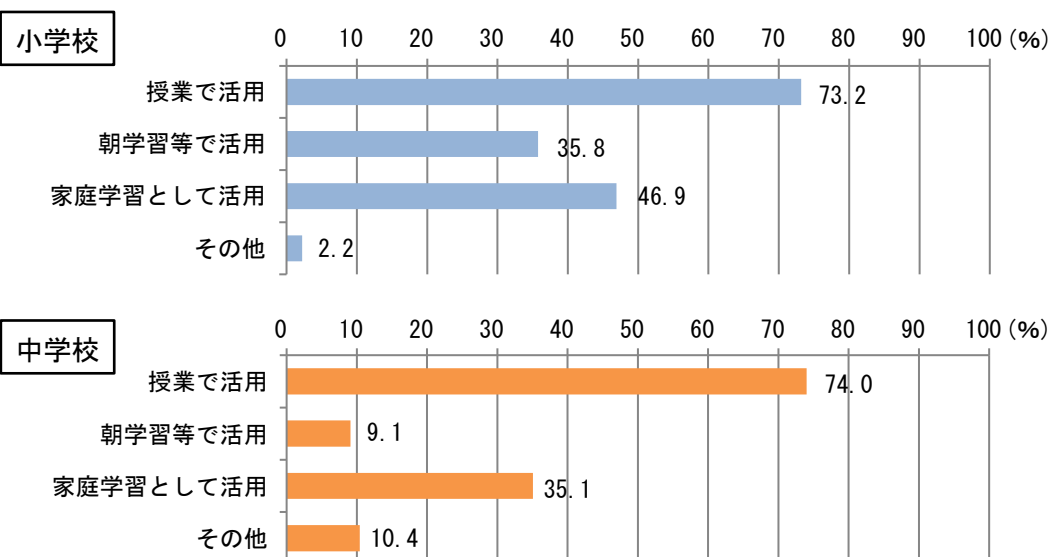
7 「令和4年度『力を試そう 富山県オリジナル問題』」（旧「B問題に挑戦 富山県オリジナル版」）の活用状況



活用した教科（予定を含む、複数回答あり）



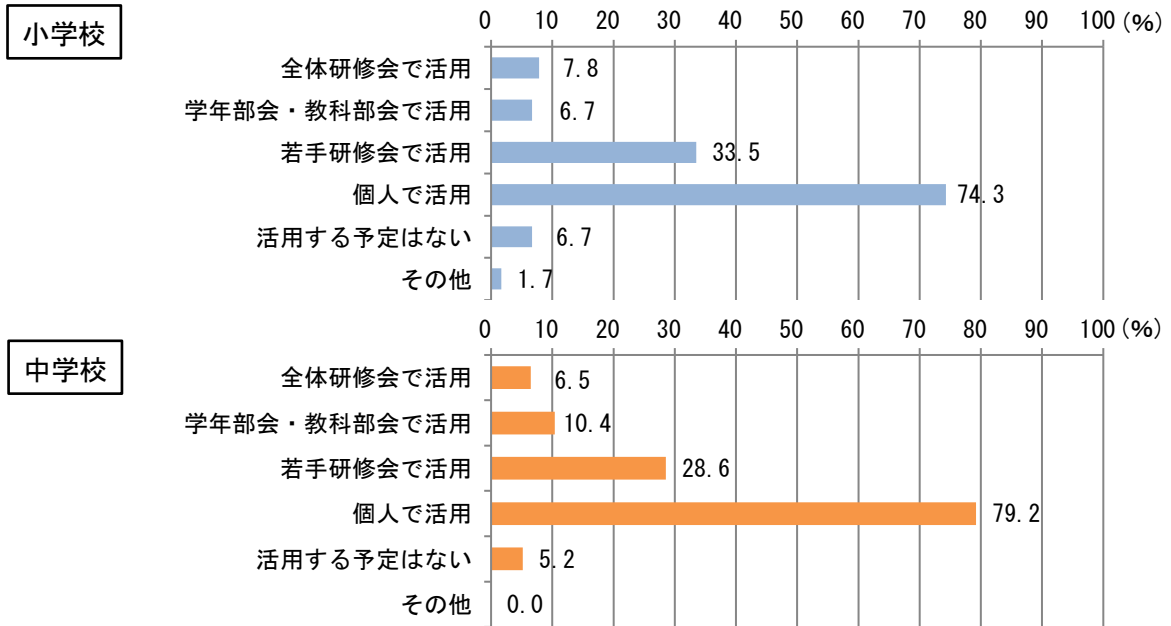
活用方法（予定を含む、複数回答あり）



【活用例】

- ・校内研修で使用した。教員全員が問題に取り組み、どのような力を付けることが求められているのかについて話し合った。
- ・オリジナル問題の活用について回覧等で周知し、必要に応じて活用できるようにした。
- ・定期考査を作成する際に参考にした。

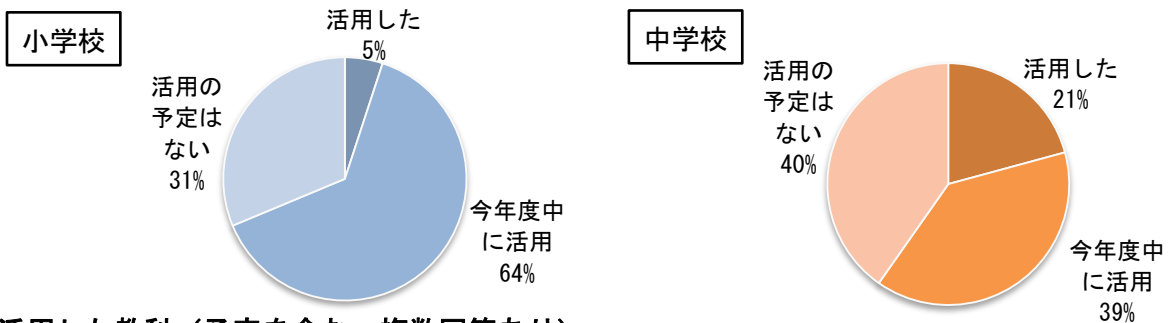
8 「『授業の達人』授業DVD」の活用状況（予定を含む、複数回答あり）



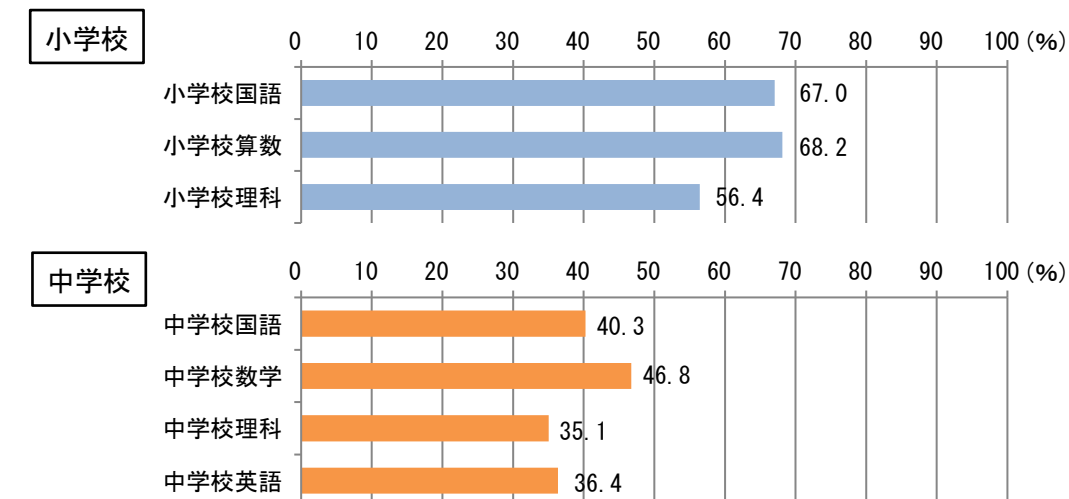
【活用例】

- ・4月最初の全体研修会で、目指す授業のモデルとして活用した。また、夏季休業中に実施した学力向上推進チームの「アラカルト研修」でも視聴した。グループで話し合った後、解説していただき、目指す授業のイメージを共有した。
- ・初任者研修会において活用した。
- ・所属する小教研部会において活用し、教師のよりよい支援について研修を行った。

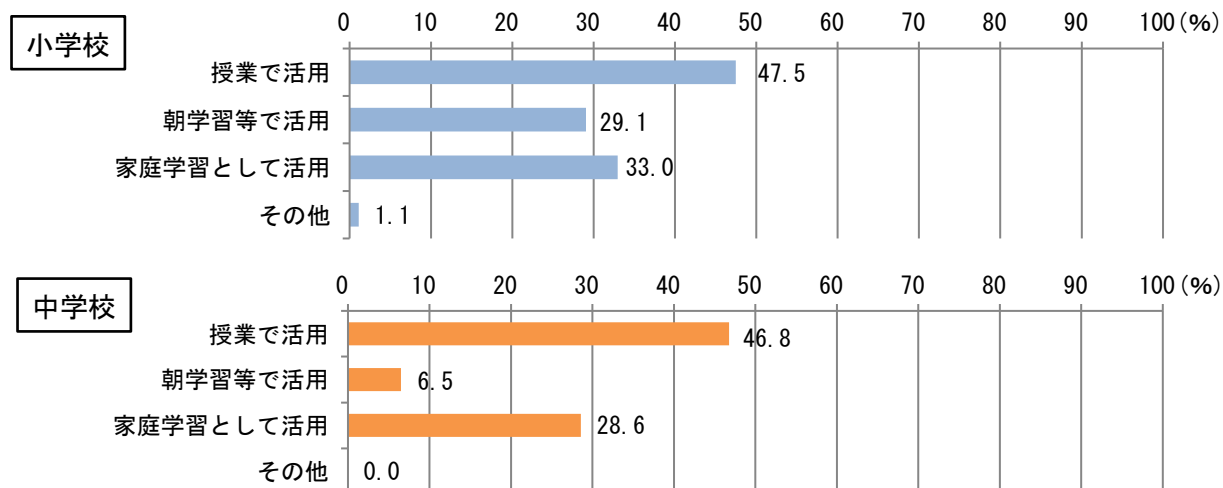
9 「全国学力・学習状況調査 設問別ワークシート」（H25～R4 調査問題分）の活用状況



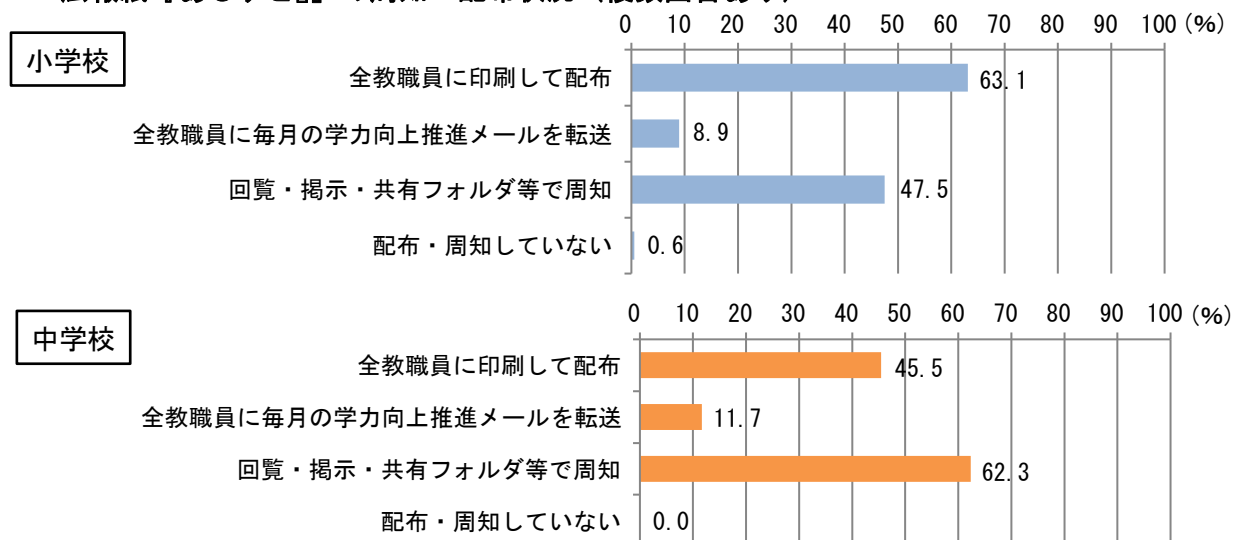
活用した教科（予定を含む、複数回答あり）



活用方法（予定を含む、複数回答あり）



10 「広報紙『あしすと』」の周知・配布状況（複数回答あり）

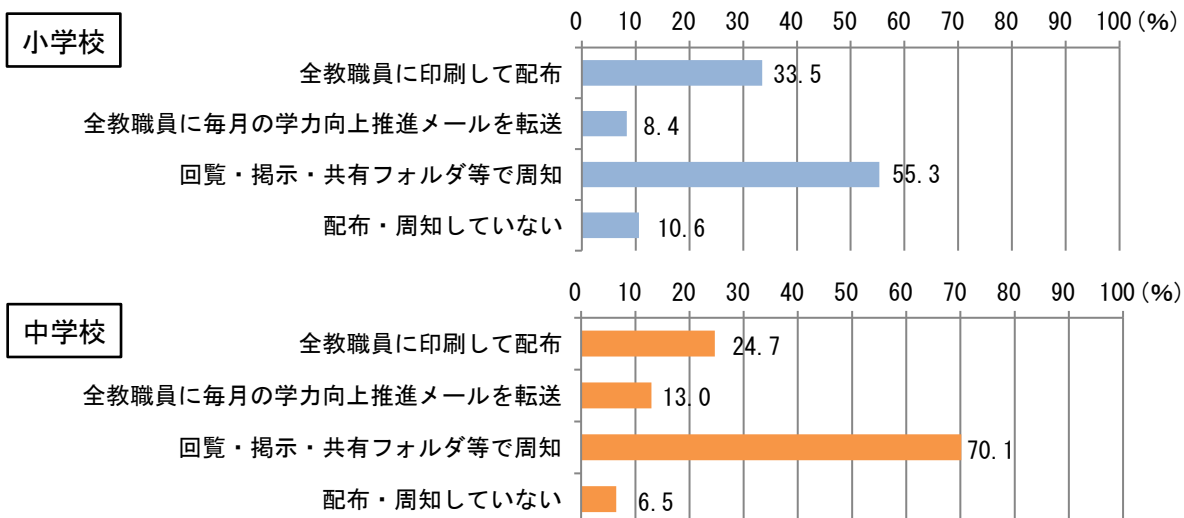


【活用例】

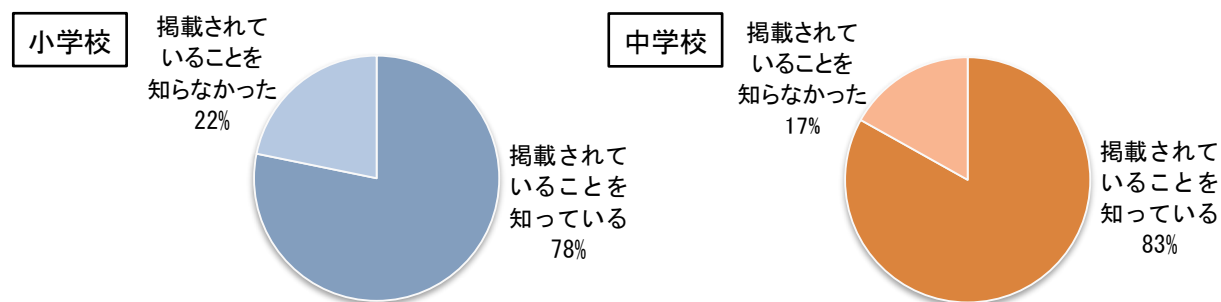
- ・「とやま型学力向上プログラムⅢ期」についての理解と実現に向けた話合いに活用した。
- ・あしすと 68 号の「とやま型学力向上プログラムⅢ期」の内容を参考に、来年度の校内研修の内容を検討する予定である。
- ・今年度の本校の研修課題について、取組の趣旨や手順を教職員間で共通理解する際に、「あしすと」に記載の実践協力校の事例を参考として活用した。
- ・若手研を中心に定期的に「あしすと」を活用した研修を行った。全国学力・学習状況調査の分析の資料としたり、各種講演の内容を共有した上で今後の授業改善について協議したりした。
- ・短い言葉で簡潔に書かれており大変参考になる。いつもは回覧するが、特に大切だと思ったときには配布し、終礼時等に共通理解を図っている。
- ・終礼等で「あしすと」に取り上げられている事例を全教職員で共通理解し、改善のヒントとした。
- ・「あしすと」に具体的な指導事例等が写真やワークシートとともに掲載されているので、指導に生かしやすい。講演会の要旨も参考になった。
- ・全国学力・学習状況調査についての校内研修において、「あしすと」のまとめを紹介した。
- ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の実践例について周知した。

11 授業改善推進員事業の活用状況

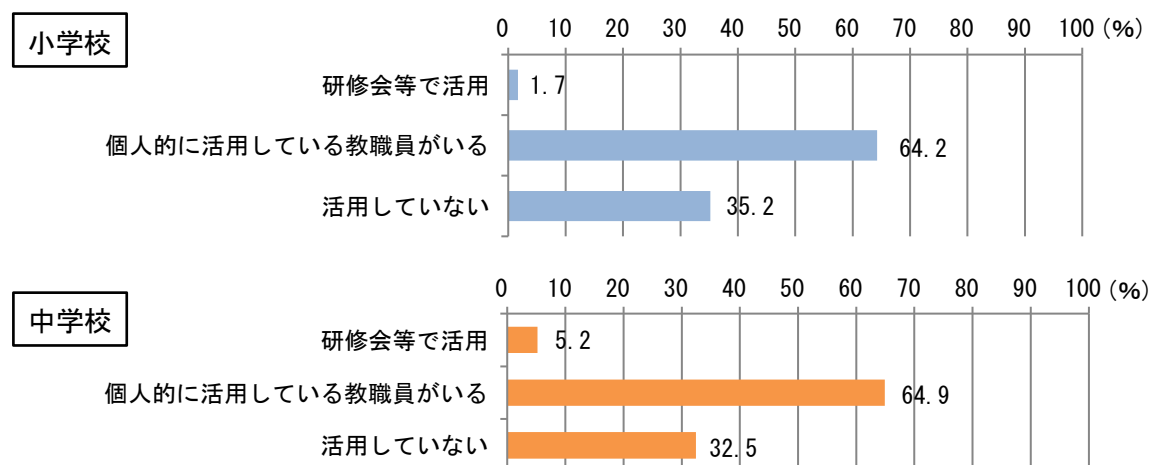
(1) 「広報誌『あしすと YELL！ 授業改善推進員の実践』」の周知・配布状況（複数回答あり）



(2) 「授業改善推進員の学習指導案・ワークシート等」のホームページ掲載について

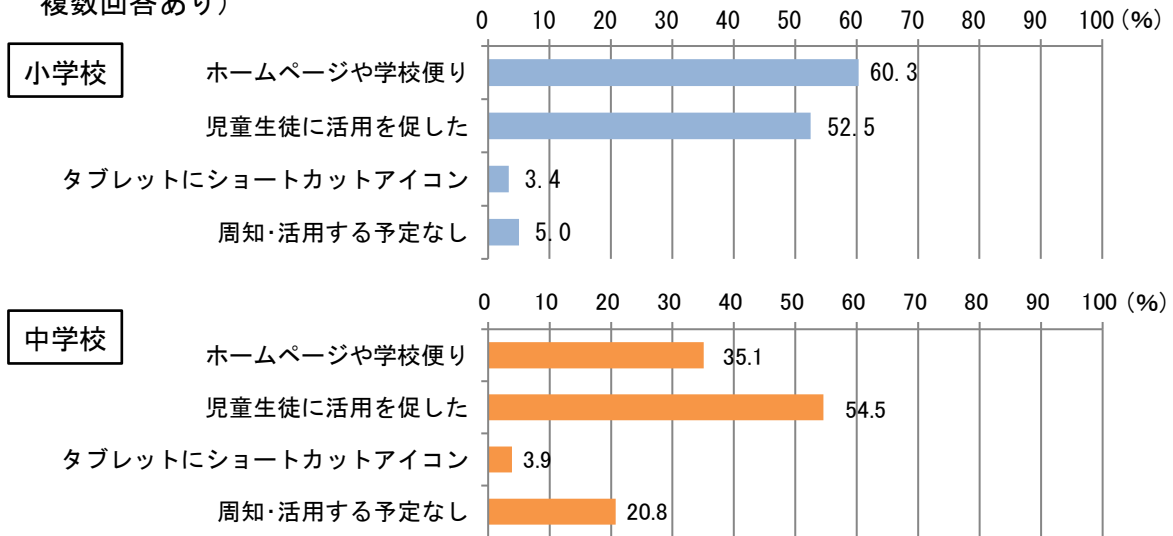


(3) 「授業改善推進員の学習指導案・ワークシート」の活用状況（複数回答あり）

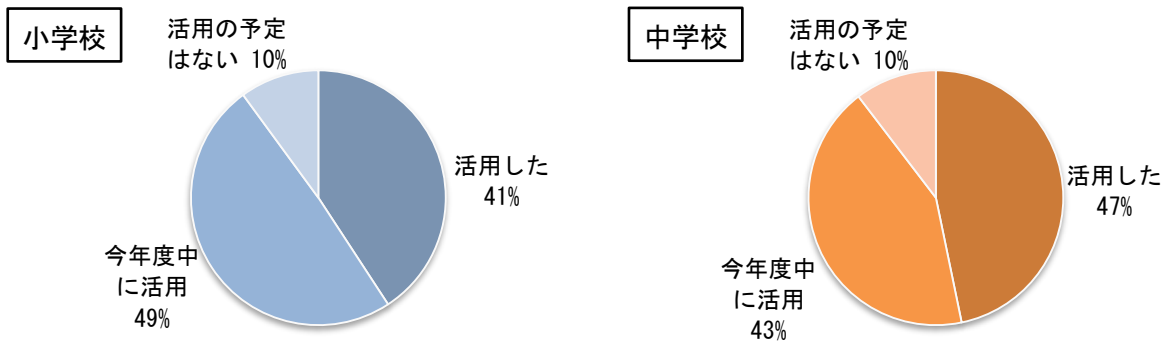


12 ホームページの活用状況

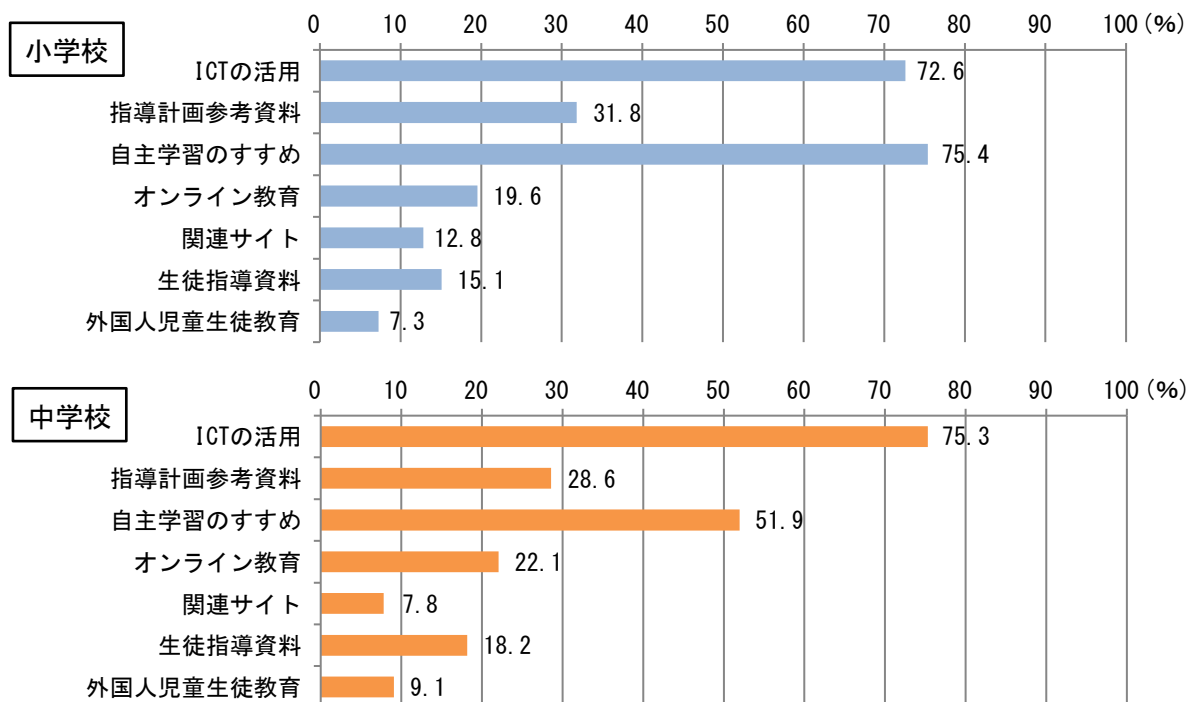
(1) 「きときと とやまっ子 学習応援サイト『家庭学習のすすめ』」の活用状況（予定を含む、複数回答あり）



(2) 「富山県教員応援サイト」の活用状況（予定を含む）



活用したコンテンツ（予定を含む、複数回答あり）



【「富山県教員応援サイト」の活用例】

- ・全国学力・学習状況調査の自校分析後に、フォローアップの手立ての参考として**研修会で職員に紹介した。**

【「きときと とやまっ子 学習応援サイト『家庭学習のすすめ』」の活用例】

- ・**個別指導が必要な児童**と「きときと とやまっ子 学習応援サイト 家庭学習のすすめ」を一緒に見ながら、**やってみたいワークシート類**を選ばせ、プリントアウトして取り組ませることができた。
- ・**単元末のテストの前に補充学習**として使用した。
- ・学習応援サイトの活用により、**個に応じた学びを進める姿**もみられた。
- ・**自主学習の参考**にした。自分では思いつかない例もあり、大変参考になった。
- ・学習応援サイトを**保護者に周知**している。

13 「学力向上推進メール」の活用状況

